



第14回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

平素は当院の診療業務にご理解、ご協力頂きましてありがとうございます。
2021年8月26日に第14回となります、地域連携セミナーを開催いたしました。
新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、前回同様にウェブ配信という形で講演させていただきました。ご協力いただきました大日本住友製薬株式会社にはこの場をお借りし感謝申し上げます。

今回は前回に引き続き症例報告といたしまして、

『在宅における腹膜透析の現状と課題について』

というテーマでお話しさせていただきました。

医師、訪問看護師、病棟看護師、薬剤師、ケアマネジャー等20名以上の多職種の方にご参加いただきました。

- ・ケアプランセンターこだま ケアマネジャー 本橋 真紀子 様
- ・鶴ヶ島訪問看護ステーションピアラボ 看護師 保健師 道畑 恵利 様
- ・しあわせ生活 北坂戸訪問看護ステーション 看護師 當銘 ゆかり 様
- ・当院 院長 野口 哲 先生

4名の方に演者としてご参加いただき、実際に在宅で腹膜透析を行った症例2例を各演者に講演いただきました。腹膜透析の在宅療養は、通常の介護に加えて腹膜透析の処置も必要になり、介護者の負担が大きくなることが懸念されます。関わる事業者にはメンタル面も含め、サポートしていくことが必要とされます。

セミナーの後半は、複数のテーマに沿って全参加者でグループディスカッションを行いました。ディスカッションでは、腹膜透析患者に関わる際の工夫や、不安な点、どういう環境(介護力や住環境)であれば安心して療養できるかを話し合いことができました。

コロナ禍ということで、対面でのセミナーが困難な中、多職種で話し合いをする機会を今後ご提供できればと考えております。

たくさんの方にご参加いただきましてありがとうございました。

セミナーの内容を一部ご紹介



血液透析と腹膜透析の違いについて

項目	血液透析 (HD)	腹膜透析 (CAPD)
透析方法	体外循環による透析	腹膜内での透析
装置、操作について	複雑 (自宅不可)	比較的簡単 (自宅可)
抗凝固剤	使用する	使用しない
回数	3日/週 通院	1日2回 在宅で可能
処置者	医療スタッフによる (病院)	本人、介護者で対応 (自宅可)
想定されるリスク	シャントの問題	腹膜炎、カテーテルの問題

講演を終えて

《鶴ヶ島訪問看護ステーションピアラボ 道畑さん》

この度は貴重な機会を頂戴し、ありがとうございました。
色々な職の立場からの腹膜透析について現状を聞くことができ、また意見を交換することで、大きな学びを得ることができました。こういう機会があることで、より連携して地域医療を提供できると思います。この度はありがとうございました。

《ケアプランセンターこだま 本橋さん》

初めての体験で緊張もあり、参加者の表情からどの程度理解し、受けとめているかがわからないこともあり、どこまで何を話すか決めかねて言葉少なになってしまいました。
参加者全員が個人差はあるにしてもそういった傾向があるので感じました。それでも何もしないよりは効果はあると思います。

《しあわせ生活北坂戸訪問看護ステーション 當銘さん》

腹膜透析の他の事例での工夫、他職種のかかわりなど多くのことを学ぶことができました。
どの職種においてもご本人、ご家族へのメンタルサポートは在宅において大変重要であることも改めて学ぶことができました。

《北坂戸ファミリークリニック 院長 野口哲先生》

今回、高齢者腹膜透析医療支援体制の構築について、地域の医療介護のスタッフの皆様とセミナーを介して話し合うことができたことは、今後の地域医療の多職種協働に繋がっていくものと考えています。
今後も引き続き、当院でのセミナーを定期的開催して参りますので宜しくお願い致します。

次回の地域連携セミナーはウェブ形式で2021年12月頃を予定しております。詳細が決まり次第ご案内させていただきます。
次回の参加も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。
また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。
地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812